

令和元年を迎えて

白鳥ホーム 施設長 川邊 智



「昭和」に開設された白鳥ホームは、皆様に支えられながら「平成」で大きく成長することができました。今、「令和」を迎え、私たちの使命を再認識し、さらに大きな飛躍ができるよう決意を新たにしたいところです。

さて、今年度は「地域と共に明るく豊かな生活をめざして」の理念のもと、従来の活動に加え、次の二点にも取り組んでまいります。利用者の状況は日々変化しています。それぞれのニーズに対応するためには、私たちが常に変化していかなければなりません。

新しい時代を迎え、今一度サービスを見直すことでより良い白鳥ホームにしていきたいと考えています。よろしくお願ひします。

一 利用者の個別性をより尊重する観点から、日中活動や行事の見直しを行います。

二 サービスの向上と「施設の見える化」を目指し福祉サービス第三者評価を受審します。

地域貢献の取り組み

介護支援課長 後藤 牧夫



三月まで、地域活動支援センターとグループホームの仕事に携わっていました。利用者の中には、自分の想いをうまく伝えられず、コミュニケーションの苦手な方が多くいました。そんな時、サービス管理責任者や、相談支援事業所の相談員と個別支援計画を考え、必要な時は役場の保健師さんから助言をいただき支援をすすめてきました。

白鳥ホームでは、地域交流センター「はくちょう」を利用して、地域の生活困窮者支援をすすめています。相談の内容によつては、県社会福祉協議会の自立相談窓口へ繋ぐこともあります。これまで培ってきた施設事業のノウハウを生かし、時には地域に足を運び、今後みなさんのお役に立てればと思います。



町内に設置された「地域交流センターはくちょう」